

人と人との『繋がり』を歴史的文化財で ～マルシェをきっかけに『繋がり』の輪を拡げる～

想い

軌跡



「繋がり」という
新しい遊びのかたち

Ecology Garden Kitokito MARCHE



運営を行うボランティアスタッフ

新庄市エコロジーガーデン
交流拡大プロジェクト 副実行委員長

吉野 敏充

きっかけはひとつの『繋がり』

山形にUターンした際、別のプロジェクトで『繋がり』のあった市の担当者からの相談…

「来訪者数が少ない旧蚕糸試験場エコロジーガーデンを活用できないか？」

登録有形文化財をつかってマルシェを！

東京で実家の米や野菜を販売していた時に感じた、「人と対話しながら販売することの大切さ」。

農家が自分で作った農産物を直接消費者に販売できるKitoKitoマルシェを立ち上げた。

『繋がり』の輪

初めは人が少なく、集客も口コミで広めていった。人数が多くなれば、楽しそうな雰囲気につられ、遠巻きに見ていた人達も参加し始めた。やがて、参加者の『繋がり』から高校生のボランティアも参加するように…。

マルシェをきっかけに、伝承野菜、地元の野菜にこだわった、スタッフによる「AOMUSHIカフェ」がオープンし、繋がり輪が広がっている。

『繋がり』の輪を拡げる！

出店者は売り上げよりもお客さんとの交流を楽しんでいる。

マルシェへの出店をきっかけに繋がっていき、街の店舗にもお客さんが来るようになればいい。それが理想…



kitokitoマルシェ



AOMUSHIカフェ



スタッフのガーデン整備

【主な活動実績】

- 平成24年6月 新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会設立
- 平成24年7月 手づくり市「kitokitoマルシェ」オープン(毎年5月～11月の第3日曜開催)
- 平成27年8月 コミュニティカフェ「AOMUSHIカフェ」オープン

〔参考URL〕 <http://kito-kito.tumblr.com/>